



第6回「Qの会」 研修会報告

10月28日公測公園において、第6回「Qの会」研修会が開催されました。大自然の中、畳の部屋での研修会でした。

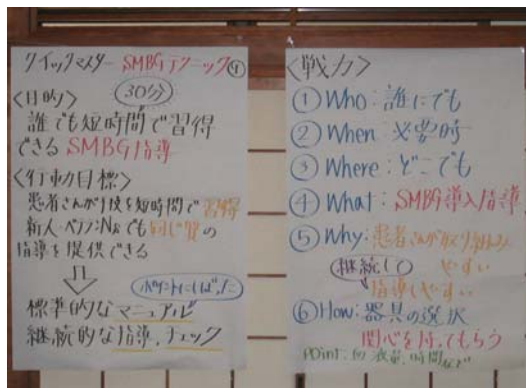
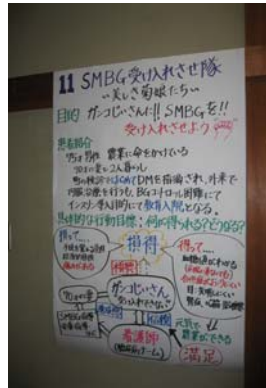
始めにグループに分かれ、SMBGが各施設でどのように使われているかを話し合い、発表しました。次に、SMBGを使う上でのメリット、デメリットについて意見交換し、デメリットについての対策を考えました。話し合ったことを参考に、SMBGの有効活用についてのグループワークをし、模造紙にまとめてそれを発表しました。短時間にグループごとの様々な意見が出てきて、参加者のモチベーションの高さを感じました。

午後より、香川大学医学部付属病院ペインクリニック科の野萱純子先生のアロマセラピーと緩和ケアについての講義がありました。アロマセラピーの目的や効果について解りやすい講義でした。次に、モデルノカーの代表取締役で、ナード認定アロマインストラクターの喜田梨津子先生のAromatherapy for 糖尿病と題して、アロマセラピーの実技があり、実際にオイルを合わせてマツサージを行いました。香りに包まれ、和気あいあいとした楽しい時間が過ごせました。

参加した方々の声 アンケート結果より

第6回研修会参加者54名のうち48名より回答をいただきました。

研修会で学んだことを現場で活用できるかという問いに対しては、様々な施設でのSMBGの取り組みを知り、いい所は活用したい。アロマセラピー、マツサージの方法が解ったのでフットケアの後に活用したい。という意見がありました。

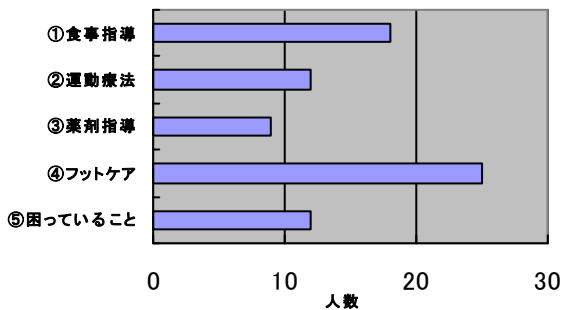


研修会に参加して目的は達成されたかについては、SMBGの有効活用について理解を深めた。マツサージ方法を修得した。という答えでした。内容は期待通りだったかについては、ほとんどの方が「おおいに」か「まあまあ」と答え、「楽しかった。」「解り易かった。」という意見がありました。今後、希望する研修会としては、フットケアが一番多くありました。

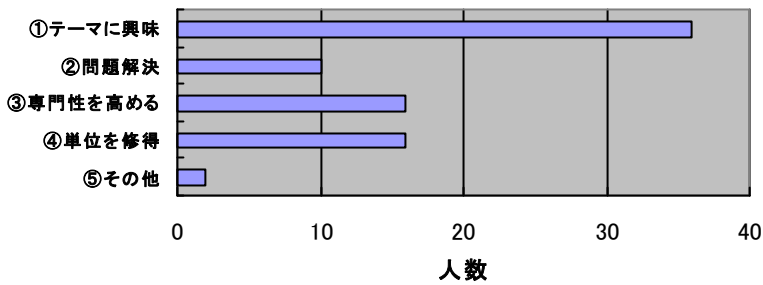
会場については、「自然の中の勉強会だったのでリラックスが出来た。」「くつろげた。」という肯定的な意見と、「場所が解りにくかった。」「交通の便が悪く、少し遠い。」という否定的な意見がありました。その他の意見として、「また参加したい。」「糖尿病看護のモチベーションが上がった。」という意見がありました。詳しくは「下の表・グラフをご参照ください。」

「研修会グループワークより」

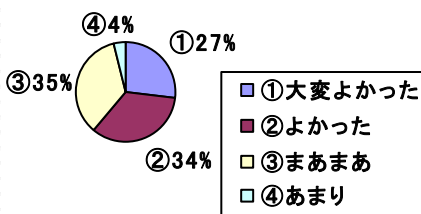
今後の研修会(複数可)



参加した目的(複数可)



会場変更について



第7回「Qの会」総会・研修会

御案内

日時：6月29日(日)

10時から15時30分

場所：中澤氏家薬業会議室

(綾歌郡綾川町陶1193-7)

メインテーマ

『糖尿病とフットケア』

糖尿病看護のフットケア指導

講師

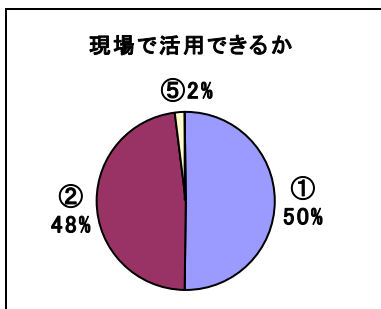
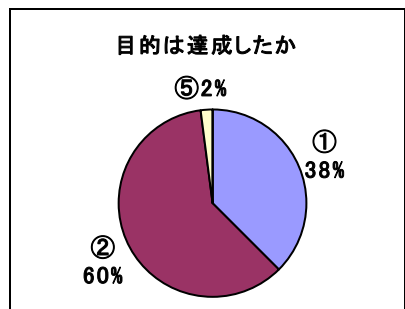
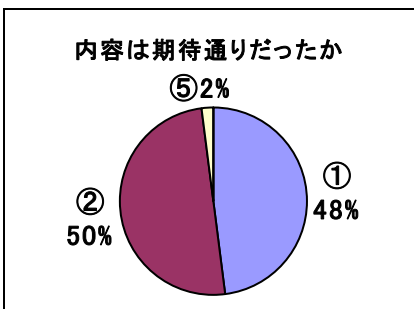
神戸市立医療センター西市民病院

糖尿病看護認定看護師

畑中あかね先生

実習と講義を行いますので、

タオルを持参してください。



おおいに まあまあ あまり ほとんど 無回答

専門分野(糖尿病)における質の高い看護師育成研修が行われました

「研修に参加して」

高松赤十字病院

岡部満寿子さん

この研修に参加し、専門クリニックと病院との実務研修を通して、それぞれの活動状況を知ることができ、各施設の果たす役割や教育システムの特徴を学ぶことができました。そして、糖尿病看護に必要な知識・技術を深め、理論を活用することで患者・家族に必要な支援をより深く考える機会となりました。

また、症例発表では、「Qの会」の方々から専門的な視点でアドバイスをいただき、新たな気づきと共に、自分たちが行なった看護に対する不安を自信に転換させて下しました。このように、糖尿病看護に携わっておられる先輩方や仲間との交流や、情報交換によって学習を深めていく必要性を改めて認識しました。これは、今後自分たちの活動の大きな原動力となっていくことだと思います。

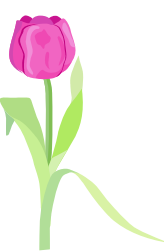
今後、この研修で得た学びを現場で活かしていくために、「Qの会」の方々の協力添えをいただきながら、専門知識や技術を深めていく学習の場や、経験知について伝えていける場をもつことから始めていきたいと考えています。この研修にご協力いただいた多くの方々に深く感謝を申あげます。

「看護師さんを受け入れて」とみおか内科クリニック

とみおか内科クリニック 谷脇直美さん

昨年秋、多くの研修看護師さんと出会いました。各々働いている環境は違っても、同じ糖尿病看護に携わる者として随分たくさん

の事を学びました。研修の方と同じくらい、いえ、それ以上に受け入れた側も勉強になった4ヶ月でした。このような機会を通して仲間作りができる事は患者さんにとっても良い療養環境提供につながるのだと思います。お疲れ様でした。



発行所 香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会

第2回香川県糖尿病対策推進会議役員会報告
平成20年2月16日(土) 全日空ホテルクレメントにおいて香川県糖尿病対策推進会議が開催されました。平成18年度事業・会計報告並びに平成19年度事業計画・予算について報告がありました。

各種委員会の報告では、看護協会代表として、「Qの会」活動の一環である、地域住民を対象とした健康講座「健康生活を見直しましょう」(鬼無コミュニケーションセンター3回シリーズ)について報告を行いました。

その後、かがわ国際会議場において公開講座「みんなで一緒に糖尿病に取り組みましょう」が開催されました。(記 渡辺祥子)

学会・研修会の案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

- 第15回日本糖尿病学会年次学術集会・第2群4単位
日時：2008年5月22日(木)〜24日(土)
- 場所：東京国際フォーラム
- 連絡先：FAX 03-35508-1302
- 第10回 日本母性看護学会・・・第1群2単位
日時：2008年6月21日(土)〜22日(日)
- 場所：大阪大学中之島センター
- 連絡先：FAX 072-950-2131
- 第14回日本看護診断学会・・・第1群2単位
日時：2008年7月5日(土)〜6日(日)
- 場所：パシフィック横浜
- 連絡先：FAX 042-778-9069
- 第34回日本看護研究学会・・・第1群2単位
日時：2008年8月20日(水)〜21日(木)
- 場所：神戸ポートピアホール・神戸国際会議場
- 連絡先：FAX 06-6377-2075
- 第13回日本糖尿病教育・看護学術集会・・・第1群4単位または第2群
日時：2008年9月6日(土)〜9月7日(日)
- 場所：金沢歌劇座・金沢21世紀美術館
- 連絡先：FAX 076-234-4363



研修会風景

編集後記：春が来て、新しい出発の時期となりました。皆様にはお変わりないでしょうか。Qの会ニュースレターでは、「会員の声」を募集しております。ぜひ近況などをお寄せください。

広報担当 串田久美